

下水道分野における日カンボジア政府間会議出席報告

国際戦略室 若林 淳司

10月25日にカンボジア王国プノンペン都内で行われました「第5回下水道分野における日カンボジア政府間会議」に出席及び発表させていただきましたので、その模様を報告いたします。

この会議は、2017年2月に国土交通省国土交通副大臣とカンボジア王国公共事業運輸省長官の間で締結された協力覚書に基づき、両国の中央政府関係者などが参加して開催されてきたものです。

2016年から2019年にかけて計4回の政府間会議が実施されてきたものの、近年はコロナ禍で開催が停止されていました。2022年7月の協議において双方が会議の再開に合意したため、今回実施されることになりました。

会議の主な出席者は、カンボジア側が公共事業運輸省(MPWT)、地方州の公共事業運輸局(DPWT)等で、日本側は国土交通省、在カンボジア日本大使館、JICAカンボジア事務所、北九州市、日本下水道事業団(JS)等でした。

会議では毎回メインテーマを設定しており、今回は「下水道事業における人材育成と制度強化」でした。

午前9時の「開会宣言」ののち、出席者一同起立のもと両国国家斉唱となりました。会議場内に両国国歌が響き渡り、これまでどこか和やかだった会場の空気が一変したのを感じました。

その後MPWTに派遣されているJICA専門家小松氏(JSからJICA派遣)の司会により会議が始まりました。

最初は、両国代表者による挨拶及び出席者紹介で、カンボジア側はMPWTのチャンコサル長官、日本側は国土交通省下水道部の松原部長(WEB参加)がされました(写真1)。

次に、チャンコサル長官と国土交通省下水道部



写真1 松原部長の挨拶



写真2 記念品交換

田嶋室長との間で記念品の交換(写真 2)を行い、出席者全員の全体写真撮影に移りました。

その後、今回の会議のメインテーマである「下水道事業における人材育成と制度強化」に関する発表が始まりました。

日本側は、国土交通省下水道部新田係長をはじめとして、北九州市(平野係長)(写真 3)、日本下水道事業団(若林)、JICA(下平カンボジア事務所員)の順で 4 名が発表を行いました。



写真 3 北九州市平野係長

私は、「組織強化のための支援制度 –JS の研修制度–」と題し、日本下水道事業団が日本で実施している研修制度を紹介しました。

カンボジア側は、MPWT のペアリス下水道総局長とバタンバン州 DPWT のソクンティアリー副局長が発表を行いました。

予定ではソクンティアリー副局長の発表後に質疑応答及びディスカッションに移るはずだったのですが、急遽カンボジア側から発表が一つ追加されました。

それは、公共事業運輸関係の大学の研究所への分析機材等の支援を求める発表でした。日本側は想定していなかった発表でしたが、司会を務めていた小松氏が落ち着いて対応していたのが印象的でした。

ようやく全ての発表が終わった後に、質疑応答及びディスカッションの時間に入りました。

カンボジア側から出た質問や意見に対して、日本側が回答するといった形式で質疑応答及びディスカッションは進みました。



写真 4 MPWT バンナ長官

最後に、両国代表者による閉会の挨拶が行われました。カンボジア側は MPWT のバンナ長官(写真 4)、日本側からは国土交通省下水道部田嶋室長が挨拶をされました。

当初 3 時間の予定であった会議は 4 時間を超え、体力的に中々大変でしたが、カンボジア側の下水道事業に対する熱い想いが伝わってきた会議でした。

本会議は、日程、会場、発表議題、参加者、参加人数、会議時間等、あらゆることが事前に予定した内容から変更となりましたが、会議運営を担当された国土交通省下水道部他担当者の皆様のご尽力及び柔軟な対応力のお陰をもちまして、無事に終了することが出来ました。末筆ながら、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。